

VCC 通信

NHK金沢ビデオカメラクラブ

2007年5月号 通巻264

がんばろう能登

お見舞いメール、電話相次ぐ

3月25日の【能登半島地震】発生以来、加賀、金沢の会員からは勿論、全国のビデオ愛好家から温かい激励とお見舞いの電話やメッセージがVCC事務局に寄せられました。心から感謝しこの紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

会員宅へ激励訪問報告

4月20日(金)VCC役員が能登方面の12名の会員のお宅に直接おたずねして「激励訪問」に行きました。輪島市、能登町方面は、藤平田、小林、片岡、小屋さんが、また七尾市、中能登町方面は、新田、宮下さんが訪れ激励とお見舞いに行ってきました。幸いにも人的被害は無く能登地区の会員の皆さまは全員「お元気でした」をご報告いたします。

能登半島地震災害義援金 報告

4月例会時に能登半島地震災害義援金の募金をお願いした所、多くの善意のお金が集まり、VCC会計から1万円をプラスしてNHK金沢放送局窓口へ募金の手続きをしてきたことをご報告いたします。

NHK長野ビデオクラブと、日本映像ネットワーク「JVA」からそれぞれ、VCCの事務局経由で多額の義援金をお寄せいただき、藤平田会長がNHK金沢放送局にお渡ししてきました。皆さまの温かいお心に深く感謝し、紙上を借りて御礼申し上げます。

【4月例会報告】

4月15日(日曜日) 午後1時～4時30分
NHK金沢放送局みまっしプラザ



例会参加者：17名、11作品を鑑賞しました。

今回の例会は、講師に富山ビデオクラブの松本慎一さんを迎えて研修例会をおこないました。

松本さんは、企業ビデオ部門で度々最優秀賞を受賞され、世界の

中での12本にノミネートされたこともあり、現在は「へなじ～塾塾長」としてビジネスビデオアドバイザーとしてプロ、アマを問わずに教えていらっしゃるビデオ作家第一人者です。

今回は、『作品に厚みをつける“音を撮る”』で事前に頂いたレジメを参考にお話しされました。

松本慎一さんのお話 要旨

私たちは放送局の方と違って、一人で企画から取材、インタビュー、編集など何でもこなさなければならぬオールラウンドプレイヤーなのです。

したがって目や耳、頭と最大限に感性を生かして取材していく訳ですが、ややもすると目の前の映像に気を吞まれて、映像を撮ることにのみ注力していませんか？

いまのカメラ機能は、映像・音声の同録ですからこそ、時には「使いたい狙った“音つきの映像”を撮る」ことにもチャレンジしてください。つまり視覚中心の撮影から「聴覚を意識した撮影」をすることも心がけてください。

私は八尾のおわら取材によく行くのですが、祭りの踊りばかりを撮っているのは、本当のおわら、八尾の情緒を醸し出すことはできません。八尾は坂の街です。道の両側を流れる水の音、そしてその鈴虫の鳴き声、遠くからおわらの唄や胡弓と三味線が聞こえてくる、そんな「音の取材」をすることも大切です。

この時の取材テープの画面は、用水の中に入れたカメラの真っ黒画面です。真っ黒でいいんです。この音は、私にとっては貴重な音なんです。

「ぼんぼり」が両側に遠く伸びあがり続くカット、そして板格子戸の家並みカット、赤い酔芙蓉花のアップカットなどと「おわら」へのいざないシーンの「音」に使えば、もう効果ということなし。

人を引きつける・聞かせる作品にするには、時にはこういった取材もしてください。とにかく「狙った音を撮る」ことが大切です。映像は付随物です。

次に人を撮るということは、話の内容をしっかりとクリアーに撮るということに留意してください。

そのために音を撮る道具として必ず「外付けのマイク」を用意してください。

皆さんは映像を撮ることに意外と費用と時間をかけていらっしゃると思いますが、音の入り口となるマイクには案外と無頓着になっていらっしゃるのではないのでしょうか。ぜひ、タイピンマイクとワイヤレスマイクのセットを備えてください。取材必携品です。

そして、素晴らしい作品づくりをしていらっしゃる皆さんならこそ、次回、新しいカメラを購入される場合にはぜひ、音声入力の為の「XLR端子x2」かつ録音レベル調整がついたものをお勧めします。

音の入力機能を重視したカメラの大切さに耳を傾けてください。今日は、音を撮る、その撮る道具の外付けマイク、そしてインタビューなどで2系統の音声入力ができるカメラの使い方などについてお話をしたつもりです。作品づくりに新しい世界がよみがえってくる事必定ですから・・・

以上のようなお話をされながら「あなたはマイクを何本持ってますか？」「良い音が録れていますか？」と会員へ直接の質問もあり緊張した中にもお話の内容は楽しく一同大いにうなづいたものでした。

説得力ある語りと熱気溢れる松本さんのお話は、制限時間を超え、聞き入る会員も真剣そのもの。

休憩を挟み、後半は、各会員の持ち寄った作品を松本さんと一緒に鑑賞しました。松本さんから直接会員にアドバイスがあり、例会に出された作品11本についてそれぞれ説明がありました。

特に「音処理」について実際的な助言をいただき、各会員本当に参考になったと納得し今後の作品作りに生かして行きたいと、うなづいていました。

小林新事務局長の司会のもと、機材操作は、小倉さん、片岡さんが、受付には宮下さんがバックアップ体制を取り、スムーズな例会の進行だと思えます。来月担当の方もどうか宜しくお願いいたします。

緊張と満足感溢れる雰囲気が続き、定刻を30分オーバーしましたが、充実した例会となりました。松本さん、有難うございました。

【自由作品一覧】

敬称略

- | | |
|------------------|-------|
| 1、なにわ散策 アクアライナー | 小倉健治 |
| 2、伝統文化を伝えたい | 小林陽治 |
| 3、今咲き誇る枝垂桜 | 小林恵子 |
| 4、初めましての京都から25ねん | 宿谷昭之助 |
| 5、チョット大きめのカンナ | 松田仁美 |
| 6、YOSAKOI イッチョライ | 松田美智和 |
| 7、ぶっつけ本番生き返ったマイク | 山崎久雄 |
| 8、棚田に巨大なひな壇 | 上野陽亮 |
| 9、災害地に無線基地を | 藤平田友市 |
| 10、がんばろう能登半島 | 新田龍人 |
| 11、20歳に再会を楽しみに | 酒元昭二 |

【5月例会案内】

5月例会は、NHK ニュースカメラマンとして活躍中の落合厚彦（おちあい・あつひこ）さんを囲んでお話を聞きます。

日時：5月20日（日）

午後1時～4時まで予定

会場：NHK 金沢放送局見まっしプラザ

内容： NHK金沢ニュースカメラマン

落合厚彦さんを迎えて

《質問コーナーあり》

自由作品鑑賞

作品の長さは、**3分**。一人**1作品**です。

必ず頭出しをしてください。皆様の力作を鑑賞し、落合カメラマンから講評を頂きます。お互いの技術向上の為に実のある例会にしましょう。

【5月例会担当】は、

岡野重和、小倉健治、表 慧、片岡重幸さん

【会員の広場】

“ビデオが取り持つ出会い旅”

出島啓雄



1981年、家内と「北欧3ヶ国ツアー」に参加、パリのオルリー空港に降り立った私が憧れの「コンコルド」にピントを合わせているその時でした。

『私は“東京の繁田”と申すものですが、お持ちのビデオはどちらで買われましたか？』と尋ねられ『出発前に金澤のデパートで買いました』と答えると『帰国後テープを貸してください』と頼まれたのです。

あとから判ったのですが、この繁田さんは、戦後NHKのラジオの「日曜娯楽版」で知られた【三木鶏郎さん】、その人だったのです。

以前使っていたソニー製のセパレート型ベータのカメラの重さに耐えかね、重量約3分の1の新型見本機「8ミリビデオ」を金澤で運良く手に入れたのですが、三木さんのグループは、用意した8ミリ映画のフィルム50本では足りなかったとの事。

帰国後、本格的に編集したテープの試写を「三木さん」の九段坂下のスタジオで見ましたが、さすが三木鶏郎さんご本人のナレーションは素晴らしく、プロの技に魅せられたものでした。

その後、サイパンの別荘に招かれたり、兼六園の雪つり作業をご夫妻で観に来られたり、昨秋には、「鶏郎第15回忌」の集会で奥様に久しぶりにお会いしました。

また「飛鳥」の第一回ワールドクルーズでお会いした「斉藤茂太さんご夫妻」や、「大村昆さんご夫妻」との出会いなど“旅行”で撮ったビデオが取り持つご縁で出会った数々の人々……

その「思い出」を胸に逝った“亡妻の7回忌”を今夏に控えてはいますが、海外旅行のビデオ旅はこれからも続けたいと思っております。

9年前でしたか、第12回NHKアマチュアビデオ映像賞の優秀賞受賞の「かきつばたの開花」は、撮影直前に出会った観光のご夫妻の“感嘆の声”が入っていたお陰での入賞と聞きました。

これからも多くの方々との「出会い」を大切に、健康に留意しながらファインダーをのぞき続けたいと思っております。

『ビデオ徒然(つれづれ)』

突然襲う自然災害には人間が如何に無力かを思い知らされる「能登半島地震」でした。被災地の会員の皆様に心よりお見舞い申します。

さて今月はパソコン編集に役立つ“裏技”を一つ披露します。皆様は編集集中インサートに使いたいが少し時間が足りない「短いカット」に悩んだ事はありませんか？

こんな場合は、静止画にして使う手もありますが、静止画は動画とは全然違って空気の流れが無いので、観客にすぐ判ってしまいます。

それで例えば、一秒のカットを3カット連続に並べて3秒にして、真ん中のカットを“逆再生”にします。こうする事でスムーズに見えます。

ただし使えるカットには条件があります。パンもズームも無いフィックスで被写体が進行していないものに限ります。これは2カットでも3カット以上でもこの原理を利用すれば、今迄捨てていたシーンが甦ります。

逆再生の仕方は、各ソフトの取り説を参照して下さい。この部分の音声は別途作成する必要があります。お試してください。(Y・K生)

【VCC ビデオ講座 14】

1カットは何秒？(4)

《サブリミナル効果とは・・・》

前回、「サブリミナル」という言葉を使った。後日サブリミナルって何？という問い合わせがあったので常識としてふれておきたい。ひと頃、放送で故意に使われて物議を呼んだこともあった。

「サブリミナル効果」とは、簡単には「潜在意識」ということ。作品の中に関係のない隠し絵のような映像を挿入しておき、視覚としては認知できないほど短い時間(1~3フレーム)の1カットであるが、特殊な刺激によって「潜在意識」を活性化させる映像の編集手法である。

1995年、放送番組でオウム真理教麻原彰晃の顔が無関係な場面で一瞬に何度も挿入されたことで非難が集中した。“お遊び”的要素で視聴者が録画した番組をスロー再生し、挿入された画を発見してもらうファンサービスの目的があったとの説もあった。

その後もアニメで何度か使われ問題視されてきたが、いまは自主的に番組放送基準でサブリミナル的表現方法を禁止する事を明文化している。

近年インターネットを見て自殺者を出したとの報道があったが、これと類似している。一種の洗脳効果が人間の意思に反して行動を引き起こす怖さがある。

アマチュアには、サブリミナルを意図して挿入することは無いものの、知らない間に関係のない短い

カットが入ることがある。

リニア編集ではイン点の設定精度不良や手作業によるミスではよくあった。作品の映像編集が終わっても不要なカットがまぎれ込んで気になることがある。もし発見できればパソコン編集では容易に修正は可能であるので、除きたいものである。

しかし、うっかり入った短い1カットが視覚では認知されないが、いつかサブリミナル効果で問題にならないとも限らない。

インターネットで作品公開ができる時代に入り、多くの方の目に止まる時代なので、BGMの著作権とあわせて考慮する時代なのかも知れない。

1カットは何秒？ 答はありません。それでも1フレームまで吟味して作品作りに臨みたいもの。

チーフカメラマンの呟き

(第6回)

画面内の情報整理

= 収まりの良い画とは？

基本的に映像画面は、**主役**としての「被写体」と、**脇役**としての「背景」があります。その両者のバランスが取れている事が安定して「見易い=見て貰える」映像なのです。その為に、必要な事は...

背景が主役を邪魔しない 主題(被写体)と無関係なものを排除する。光るもの、動くもの、暗い色、明るい色の大きなものは、邪魔をする恐れがあります。

画面の四隅、エッジに別のものが「半分だけ」入る等避ける

特に人物の顔が半分だけ入っているというサイズは、失格です。最近では、画面が横に広く、ファインダーも横に広くなり、人物が不用意に半分だけ入っている映像をみる事が有ります。気を付けましょう。

画面内での上下左右のバランスを取る

画面の右半分、あるいは左半分に主題を配置し、その反対側を広く空けすぎると、不安定な印象になる場合があります。(完全に左右が同じバランスだと、不自然な場合も出てきます)

また、地平線で画面を上下に分割する際、その上下の割合は、表現する意図によって異なります。

「素晴らしい青空が・・・」というお天気表現では、空部分が広くなり、「この町が舞台です」と云った町のロングの場合は、空部分が少なくなります。

適度な斜めの明かりを当てて、被写体の明暗で、立体感を付ける

特に人物撮影の際、斜めの明かりの有るもの、無いものを比較して撮って見ましょう。同じ被写体でも、こんなに違うのか？とビックリするくらいの「差」が出ます。以上の「画面内の情報整理」を素早く行う練習は、常に「ファインダーの四隅」を見る訓練をする事です。

その為に、ファインダーの中心から真っ直ぐに見る事を習慣付けましょう。(ファインダーの光軸と、自分の目の光軸を一致させる)

液晶モニターを使わないで、キッチンとファインダーを通して、被写体を見つめる事が必要な理由はここにあるのです。

また、シャッターを押す前に「十分に画面内の情報整理」を行うのが当然ですが、カメラが廻り始めてから、画面に「不意に何かが入ってきた」場合は、慌ててカメラを「パン・チルト・ズーム」させるのではなく、カメラを廻し続けながら、対処する工夫をしましょう。

しかし、「不意に入ってきた何か」が、画面を混乱させていたら、迷わずカメラを止め、キッチンと撮り直しをしましょう。

また、「パン・チルト・ズーム」をするか、しないか、迷いが出たら、「両方撮るのが、原則です」。何故なら、考えすぎて、カメラを廻せなくなっても困ります。

また、**、**、の注意点を「実行」するためには、**カメラポジション、アイポイント(カメラの地面からの高さ)**を、変えて見ましょう。カメラ位置をちょっと変えてみるという僅かな工夫で、「画の収まり」が格段に良くなる事があります。

『NHKアマビデオ事務局通信No.33より』

《皆さまへのお願い》

東京のNHKアマビデオ事務局では、ビデオに関するさまざまな質問を受付けています。疑問、質問が有りましたらVCC事務局にご連絡頂ければ事務局の山下さん迄お伝えします。会員の皆様のご協力をお願いします。

ビデオ便りから

毎週放送のあった「ビデオ便り」は4月は“能登半島地震”関連のニュースの為に休止しましたのでご了承ください。

ビデオ便り担当：亀井 和恵さん

連絡先：076-264-7032

ニュースデスクから

身の回りで起きた面白そうな話題や事件等「ニュース」になりそうなものがありましたら気軽にご一報下さい。日中の時間であれば

NHK金沢局の映像取材のデスク席

(076-264-7035)

能登半島地震災害義援金の受付

能登半島地震でNHKなどでは、「能登半島地震災害義援金」を受付けています。

「窓口受付」

NHK金沢放送局、石川県共同募金会など

「郵便振替」の口座番号は、

石川県共同募金会 00780-6-320

日本赤十字社石川県支部

00780-1-3

石川県災害対策本部

00730-4 7700

通信欄に「能登半島地震 災害義援金」と記入してください。窓口での振替手数料は無料です。

このほか「銀行振込み」でも受付けています。

受付期間：9月28日(金)まで

問合せ：NHK金沢放送局

(076)264-7030

(平日午前10時~午後7時)

【事務局より年会費のお願い】

今年度会費(4,000円)です。例会出席の折か、又は下記の口座まで送金下さい。

北國銀行本店 普通預金 口座 361648

口座名義 NHK金沢ビデオカメラクラブ

【編集後記】

松本慎一さんをお迎えしての熱気を帯びた4月例会も終わり桜の季節から若葉薫る5月となりました。5月例会は、ニュースカメラマンの落合厚彦さんを迎えてのお話です。沢山の方々参加をお待ちしています。【事務局長：小林陽治】

***** 事務局 *****

NHK金沢ビデオカメラクラブ事務局 (VCC)

〒920-8644 金沢市大手町14-1(金沢放送局内)

小屋忠男 携帯電話 (090)7746-9608

tadao@nsknet.or.jp (小屋メールアドレス)

VCCのホームページ

<http://k-vcc.web.infoseek.co.jp/>

VCCアーカイブス (過去の会員作品集)

作品をお寄せ下さい。DVテープにダビングして小屋さん迄お送りください。パスワードが要りますので明田吉憲さん迄メールして下さい。

<http://www.viplt.ne.jp/aurora/vcc.html>